



TITLE:

Entrepreneurial decision for rural development under social network effect(Abstract_要旨)

AUTHOR(S):

Jin, Yuze

CITATION:

Jin, Yuze. Entrepreneurial decision for rural development under social network effect. 京都大学, 2019, 博士(工学)

ISSUE DATE:

2019-09-24

URL:

<https://doi.org/10.14989/doctor.k22053>

RIGHT:

京都大学	博士（工学）	氏名	金 雨澤
論文題目	Entrepreneurial decision for rural development under social network effect （社会的ネットワークを考慮した過疎地域振興のための起業家行動に関する研究）		
<p>（論文内容の要旨）</p> <p>本論文は、過疎地域振興において起業家が果たす役割の重要性に着目し、その行動原理を示す理論モデルを構築するとともに、起業家育成にあたって周辺の起業家やその活動をサポートする人材などとのネットワーク形成が重要であることを指摘し、必要となる過疎地域の活性化策について考察したものであり、以下の6つの章で構成されている。</p> <p>第1章は序論であり、過疎地域が現在直面している様々な問題を体系的に整理するとともに、その緩和策の必要性について考察している。過疎地域においては一般的に地域コミュニティにおける相互関係が強力であり、そういった社会的ネットワークに基づいた起業家育成策が過疎地域の振興において重要な役割を果たすことについて論じている。また、過疎地域において起業家が育成できるための要件として、労働者の生産技術の改善、社会的共通資本（social capital）の醸成という二点が重要な役割を果たすことを指摘している。また、地方政府が起業家育成にあたって果たすべき役割を体系的にとりまとめている。最後に、第2章以降の論文構成について説明している。</p> <p>第2章では、起業家行動分析や起業家育成と地域社会との関係に関する関連研究について文献サーベイを行うとともに、特に過疎地域を対象とした場合に特徴的と考えられる地域人口の少なさや人々間の社会的ネットワークの強さが起業家行動に及ぼす影響について包括的に考察している。過疎地域活性化のためには従来型の資金的サポートのみではなく、いかにして起業家によるスタートアップを増加させるかに関する政策の導入が重要であるかについて指摘し、資金を効果的に起業家育成に配分する仕組みをとりいれることが必要であることについて言及している。また、起業を試みる住民をサポートするプログラムを通じて、起業家が新しい事業を立ち上げるために必要な費用を下げる努力をすることが重要であることを指摘している。これらにより、以降の章において分析に導入される視点の新規性と重要性を明らかにしている。</p> <p>第3章では、過疎地域における人的資源の質の向上が起業家育成にあたって重要であることに着目し、技術の面において質の異なる個人が起業するかどうかを説明する理論モデルを構築している。構築したモデルを用いて、政府による起業家育成プログラムを通じた起業家間ネットワークの強化により潜在的な起業家候補者が起業するインセンティブを高めることや、より高度な労働力を必要とする産業を誘致することが、地域に居住する人々の厚生を高めることを理論的に明らかにしている。さらに、人口が相対的に少ない過疎地域においては、より高度な労働力を必要とする産業誘致により生きない賃金を高める政策が、起業家育成を通じた厚生改善を通じた過疎地</p>			

京都大学	博士（工学）	氏名	金 雨澤
<p>域振興に有用であることを示している.</p> <p>第4章では, 過疎地域内に居住する住民間の社会的ネットワーク構造に着目し, 住民間の社会的ネットワークの強度を高める Social Capital の育成策が起業行動に及ぼす影響について分析している. 住民一人一人の生産活動が社会的ネットワークで結ばれている他の住民へ及ぼす外部効果に着目して, 各住民が近視眼的に行動した場合に達成される活動水準は最適解に比べて過小であることを指摘すると共に, 均衡ではボナシッチ中心性と等しい活動水準が実現することを理論的に明らかにしている. さらに, 住民間ネットワーク形状の違いに応じて, 起業家育成に必要な政策が異なることについて分析すると共に, 特にコミュニティにおけるリーダーが存在するネットワークにおいては, まず当該リーダーに対する起業家育成サポートを行うことが社会的厚生 of 改善による過疎地域活性化につながることを明らかにしている.</p> <p>第5章では, 起業家が事業を立ち上げる上で必要な費用を賄う手段として, 投資家による資金を起業家に融資するマイクロファイナンスシステムに着目し, 投資がより効率的に起業家育成に対して貢献するためには, ソーシャルキャピタルの強化によるネットワーク形成が重要な役割を果たすことを示している. 特に人口が少ない過疎地域において, 人々のコミュニケーション活性化によるソーシャルキャピタル醸成が起業家育成に大きな役割を果たすことを明らかにしている. 本章のモデルは, 過疎地域の住民が収入を自分たちのための消費のみに使うだけでなく, 起業家育成のために必要な投資に用いれば, 居住地域で購入できる財の種類の多様性の増加を通じて地域住民の厚生を高めることができるという重要な示唆を導き出している.</p> <p>第6章は結論であり, 本論文で得られた成果について要約している.</p>			

(論文審査の結果の要旨)

本論文は、過疎地域振興において起業家が果たす役割の重要性に着目し、その行動原理を示す理論モデルを構築するとともに、起業家育成にあたって周辺の起業家やその活動をサポートする人材などとのネットワーク形成が重要であることを指摘し、必要となる過疎地域の活性化策について考察したものであり、以下のような知見を得ている。

1. 過疎地域において喫緊の課題である地域を支える活動の重要性に着目して、地域における人材育成教育活動が過疎地域活性化に果たす役割について分析している。地方政府による人材育成教育が地域における起業家の増加をもたらすメカニズムを理論的に分析するとともに、当該地域の社会的厚生に与える影響について考察している。

2. 社会ネットワーク分析を用いて地域コミュニティ内のネットワーク構造を明らかにしている。人々のコミュニケーションの活性化により社会的ネットワークの密度がより高まれば、ネットワークにおけるリーダーの育成と地域におけるソーシャルキャピタル形成を通じて、地域における起業活動を活性化することができることを示している。

3. 起業家が事業を立ち上げる上で必要な費用を賄う手段として、投資家による資金を起業家に融資するマイクロファイナンスシステムに着目し、投資がより効率的に起業家育成に対して貢献するためには、ソーシャルキャピタルの強化によるネットワーク形成が重要な役割を果たすことを示している。特に人口が少ない過疎地域において、人々のコミュニケーション活性化によるソーシャルキャピタル醸成が起業家育成に大きな役割を果たすことを明らかにしている。

以上、要するに、本論文は、激しい人口減少に直面している過疎地域における起業家育成の重要性を理論的に示すとともに、社会的ネットワークに着目して起業家育成に資する地域活性化策について理論的・実証的に分析したものであり、学術上、實際上寄与するところが少なくない。よって、本論文は博士（工学）の学位論文として価値あるものと認める。また、令和元年 7 月 26 日、論文内容とそれに関連した事項について試問を行って、申請者が博士後期課程学位取得基準を満たしていることを確認し、合格と認めた。